

Rotary  あすかロータリークラブ
Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長 : K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー : 中澤 忠嗣

会長 : 澤 光彦 エレクト : 吉川 隆博

副会長 : 松中 久 幹事 : 森下 秀城

クラブ会報委員長 : 富士川拓也

Vol. 25 No. 11 (No. 1158) 2015 年 9 月 17 日発行

前回のニコニコ ¥28,000 / 前期会費預かり分 ¥855,000 / 今年度累計 ¥1,165,500



秋の気配 (ソバ畑) 撮影地: 桜井市笠 撮影者: 井上重行

第 1158 回 2015 年 9 月 17 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「奉仕の理想」
- 3 お客様紹介
- 4 会食
- 5 会長報告
- 6 幹事報告
- 7 出席報告
- 8 ニコニコ報告
- 9 委員会報告
- 10 本日の卓話
「歴史から学ぶ
現代人の心に響く 日本文化の発進
檀原市文化協会 会長 戸田 守亮様」
- 11 閉会点鐘

1157 回報告 2015 年 9 月 10 日 (木)
於: 檀原ロイヤルホテル

ソング
「四つのテスト」
ソングリーダー 鍵谷 安利会員

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1157 回	57	23	41 (16)	5	92.00
第 1155 回	57	23	36 (14)	8	91.67

ニコニコ報告

- 脇本 弘文君 本日は情報集会発表会です。皆様
よろしく申し上げます。和田さん、
退院おめでとう。
- 和田 修志君 大変ご無沙汰しております。多数
お見舞いに来て頂き本当にありが
とうございました。生きて帰って
来れて本当に良かったと思います。
- 井上 重行君 和田様、ご回復おめでとうござい
ます。また飲みましょう！

森下 秀城君 和田さん、退院おめでとうござい
ます。シャバの空気はいかがです
か？三途の川を渡らなくてよかつ
たですね。

以下同文 富士川拓也君

吉田 勝亮君 和田さんへ 元気に復帰されてよ
かったです。今後はあまり無理せ
ずに(飲む・打つ・買うを控える)、
頑張ってください。

吉田 雄策君 誕生日のお祝いありがとうございます。
親に感謝。

会長挨拶

- 和田会員、ご退院おめでとうござい
ます。健康に気を付けて、ますます
頑張ってください。
- 東日本大震災復興支援事業「海の幸・山の幸・食
べて応援・買って応援」の開催が、
あと 2 か月後にせまってきました。
皆さんの協力によって、この事業
が成功裏に終わりますよう、よろし
くお願いします。
- 本日は情報集会発表会となっております。
その中に「『出会い・志・感謝』の
ロータリー活動について」という
テーマがありましたが、この『出
会い・志・感謝』という言葉は、
私が 40 年程前から結婚式など
の色紙に必ず書いてきたフレーズ
です。今日は、皆さんの解釈を楽
しみにしています。

幹事報告

- 9/17 クラブ協議会について
- 今後の服装について
クールビズは 9 月末迄。10 月第 1
例会よりネクタイ着用。10/8 の
ガバナー公式訪問はエンブレム
紺ブレザー着用。
- 9/16 奈良東 RC の創立 25 周年
例会に会長、幹事が出席

委員会報告

- 出席奨励委員会 久保委員長
10/8 のガバナー公式訪問の出席
奨励
- 25 周年実行委員会 植田委員長
11/8 の事業の告知

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



- 9月のお誕生日
- 12日 吉田雄会員
 - 16日 金澤会員
 - 21日 北岡会員
 - 23日 居内会員
 - 30日 中川会員

次回の例会

「お月見例会」

於：ヴェルデ辻甚 18：00～ 親睦・R家族委員会

「情報集会発表会」

ロータリー情報委員会
脇本 弘文委員長

テーマ

- ①「出会い・志・感謝」のロータリー活動について
- ②当クラブの中・長期ビジョンについて
- ③クラブの出席率について
- ④その他意見など

A グループ

日時：8月27日

於：橿原ロイヤルホテル「松柏亭」

リーダー：松中 久

書記：宮本義人

参加者：島田悦治

田中和宏

森下秀城

吉川隆博



- ①当クラブは創立25周年を迎えます。皆さんはRC活動に志を以って入会されました。当クラブ創立以来、延べ104名の会員になりました。志半ばで亡くなられた方、勤務地の変更で余儀なく、また志と異なる理由で止められた方、色々な理由で47名の方は残念ながら退会されていますが、現在57名の方がロータリー活動を理解され活躍されています。出会いと喜びを感じ、楽しみながら奉仕活動されているのではと思います。
- ②*周年事業については、現在は5年おきに実行されています。今後は30周年、40周年、50周年とするのか、今まで通り5年ごとにするのか、目標を決めておいた方がよいのでは？
 - *複数年にわたり奉仕活動をしている。今後の取り組みについて見直す必要はないのか
 - *基金特別会計の取り扱いについて
現在積立方式で、手の付けられていない会計と

して13,548,096円あります。使用目的はあるのか、なければ必要に応じて取り崩せないのか。パスト会長による検討会を開催しては？

- ③*会員のホームクラブ例会出席は、ロータリーの目的達成のための義務である。週に一度の出会いが楽しみでもある。できるだけ出席はすべきである。
 - *やむを得ず、欠席せざるを得ない場合、必ず事前の欠席届を提出することは勿論、次のことをロータリーの目的意義のための出席とみなすことが出来ないのか？
 - ・Eクラブへの積極参加
 - ・例会以外での奉仕活動への参加
 - ・例会並びに奉仕活動のための事前の準備活動への参加
 - ・それ以外でも、いずれも事前に幹事まで届けて理事会で認められたものに限り、ロータリー活動目的達成のための補填出席として取り扱い出来るようにすべきでは？

B グループ

日時：8月20日

於：橿原ロイヤルホテル「白樺」

リーダー：吉田雄策

書記：松山隆一

参加者：岩井常二

北岡忠義

嶋田英隆

中西 知

野島誠一

吉田太三

吉田 格



- ①*チャーターメンバーとして出会って以来、年を重ね、付き合いの度合いが深まり、信義に厚い良き友に恵まれたこのロータリークラブに感謝。
 - *「出会い」とは、通りすがりではなく、意識を持って、後から思い返してみれば良い出会いであったと感じる事。「志」とは、この世に生まれてきたからには「何事かを成そう」、とりわけクラブの皆で成そうとする事が重要。「感謝」とは、復興支援事業でも相手なければ活動できない、奉仕しているのではなく、奉仕させて頂いていることに感謝。(東松島の方々へ)
 - *年をとり、若い方とのふれあいがなくなっていく。RCには40代の方々が入ってきて出会えている。
 - *年は先輩だが、RCの経歴は後輩の方も多、付き合いは気を使うことも多い。付き合い方も年上、年下といろいろ工夫しながら、知らない方々と知り合えて感謝。
 - *友人はほとんど定年退職した連中ばかりで話がなかなか合わない。その意味ではRCに感謝。
 - *気の合う仲間、どんなことでも一緒にやろうという友に出会え、一緒に酒が飲めることに感謝

*志として実は会長をやってみたかった。今は一会員として仲間とゴルフできるのが、ささやかな幸せ。

*RCに入って友だち、先輩が一度にたくさん増えた出会いに感謝。先輩が私たちに合わせてくれている。

*やっぱりあすかRCに縁があった。良かった。奉仕事業がきちっとあり、クラブ一丸で活動することができる。単なる寄付ではなく、自分の体を惜しみなく動かすのがあすかRCの強みであり、できるだけ長く入っていたい。

②*40代から50代の方々は、後々のガバナーや地区の代表を狙おう。

*まずは、若い新入会員をどんどん入れること。新陳代謝を高め、会を活性化（ビジョンを語るには）。

*当面は最低60人は必要。理想は100人ぐらい。（ビジョンを達成するため会員増強が必須。）

③*Eクラブの効果が出ている？のか。昨今は出席率が好調。

*例会時の食事数も追加になることが多くなった。

*あすかRCは出席に関しては正直な数字である。

*他、奉仕活動やイベントに出れば、例会出席とみなすこと、告知を早く動いてほしい。

*次回の出欠を聞くのは良い。欠席する人は、連絡するのは当たり前です。

*Eクラブは数字上の出席率をあげるための施策。本来のロータリーの出席とは例会出席をしっかりと考えること。

C グループ

日時：9月3日

於：橿原ロイヤルホテル「鳳凰」

リーダー：米田昌弘

書記：小西泰秀

参加者：井村正道

岡田憲一

竹田裕彦

中川基成

野々垣博紀

深井泰俊

吉田勝亮・吉野修一郎・脇本弘文



①*奉仕活動を通じてメンバー同士が改めて出会う。

*基本的なことを見直し、原点に立ち返ることが大事であるということを表現されている。

*RCの原点を言われている。あすかRCはメンバー同士の仲が良く、明るく活動している。今の我々の良い雰囲気大切にしていきたい。

*ゴルフの会など同好会もあって、それも出会いである。

*本年度の例会の席順において、毎回席順を記録して、パスト会長も交えるなど席順にも出会いに配慮している。

*出会いを大切に、人生の中で有意義にして

いきたい。志の部分で自分を高めていきたい。パッションを持ちながら自らを発展させたい。

*あすかRCは皆が和気あいあいとして、いざとなれば皆が一丸となれる。

25周年を精一杯祝おう!!

②*現時点ではあるのか？

*現時点ではない。

*ロータリーは単年度制なので、実戦する年度が大事である。

*短期的な中で繋がっていけばよい。

*急に作ったりするのは良くない。

*一年一年が大事である。

*行う事業が繋がって、リレー的な要素が必要である。

③*出席率を締め付けしないで、長い目で見てあげて欲しい。

*出席の意識を持って頂き、個人に任せてあげて欲しい。

*Eクラブのメーキャップの活用を勧める。

④*特にありませんが、何故かドイツの話で盛り上がり、楽しく美味しくお酒もたくさん頂きました。

D グループ

日時：8月27日

於：かにの家

リーダー：大塚 昇

書記：清水 徹

参加者：浅田昌彦

井上重行

猪尾 清

久保真須夫

熊本昌樹・澤 光彦・内藤正知

仲川和馬・富士川拓也・柳田弘明



①*このテーマはJC理事長の時からキャッチフレーズで挙げさせて頂いた。出会いというのは一番大事なことで、私もこのRCに入っていなかったら皆さんに出会えなかった。友人も出来なかったし、いい話も聞けなかったと思う。だから初めての出会いを大切にしなければならない。

また、RCに入る時にどういう志をもって活動していくか、ただ単に飲み食いや親睦だけでなく、ひとつ筋の通ったことを考えて、それを行動に移していかないといけない。（澤会長）

*あすかRCの出会いの良さは、長老の方々から優しい眼差しで見守って頂いている。派閥が無く、行事にも積極的に参加していただけて、若い会員と共に一体となってもらっているのがとてもうれしく思う。

*RCに入って、一業種一名ということで、今までは自分の業種関係しか出会いが無かったのが、今は私の知らない世界を垣間見ることが出来、話を伺うことで興味の湧く幅が広がった。

*RCに入会し、色々な方の話を聞くと、普段全然感じ取れなかった感性や、大変興味深い話を聞

かせて頂けることがプラスになる。一気に 50 名の友人が出来た。

- * 国税局から査察が入りお土産を沢山持って行かれショックでしんどい思いをしていた時、ロータリー入会のお誘いがあり、心機一転、知らない世界を見るのもいいかなあと入会。沢山の出会いがあった。
- ② 25 周年を迎えるにあたり、色々なクラブに聞いてみると、50 周年、70 周年を迎えるにあたり長期ビジョン委員会を立ち上げているクラブもある。私たちが活性化の為に先を見据え、長期ビジョン委員会を設立してはどうでしょうか。
- ③ * ほとんど出席しない会員をどうするのか。
 - * 長期休暇なら休会制度を設けては？
 - * 長期欠席があるのであれば、絶対に出席率 100% にはならない。
 - * 入会時のオリエンテーションを 1 回ではなく、出欠の件に重点を置いて 3・4 回行う必要があるのでは？
 - * 以前は欠席したらきっちりメーキャップに行っていた。今はまわりを見てもメーキャップに行かなくていいような雰囲気になってきているのでは？
 - * 北海道ならメーキャップに行くのに 2~3 時間かかるけれど、こちらは他のクラブも近くにあるのでしっかり行くべきなのでは？
 - * 長期欠席者に E クラブの活用をもっとしっかり伝えては？
 - * 全会員に欠席の件についてアンケートを実施。
- ④ * あすか RC も年齢差が広がってきた。若い方から年配の方までそれぞれの役割を考え、全体の力でクラブを運営していかなければいけない。
 - * 会員は 57 名いるので、情報集会でリーダー・書記が繰り返し当らないように考えてほしい。

E グループ

日時：9 月 1 日

於：榎原ロイヤルホテル「松柏亭」

リーダー：高田雅信

書記：武井仁思

参加者：青山信房

住吉襄一

杉本憲秀

植田俊應

鍵谷安利

岡本光晴



- ① * 入会したことによって出迎え、事業活動を通じていろいろな人と出会うことができ知り合えるのは良い。今後もこれに感謝し情熱と志をもって RC を楽しみたい。
 - * ロータリーのあり方の基本であると思う。そもそも、下心があって参加するクラブではない。
 - * 入会間もないと交流の場がなかなかできないが、合同例会はその一端を担っている。

* 合同例会は、近隣のクラブとは廃止の方向で再考し、遠方のクラブとの交流をもつべきで、宮崎やグアムとの交流は発展させたい。

- ② * 今年度は 25 周年であり、今後周年を目指して取り組むことも必要であるが、単年度制であり各年度の考えで違いが出てくるのが良いことで、会長の間味がでてくる。次年度以降の考えに影響を与えるビジョンはよくない。
 - * 東松島支援事業は今年 7 年目で今後も続けるのか考える時期にきている。
 - * ガバナー輩出を長期ビジョンとして目指せば良い。そのため何をすべきかを考え取り組む必要がある。奈良県には 6 年に 1 度回ってくるため 5 年後になるが、そんな短期間ではガバナーの域に達しない。クラブの幹事、会長、地区の役職を経験しなくてはいけないためもっと時間が必要。
 - ③ * 出席は大事なことが、"がちがち"に確認すべきなのか疑問に思う。今年度は出席免除会員にも次週の出欠を確認される。
 - * 出席率があがれば、食事代もかかり予算も高騰するのではないか。
 - * 会員それぞれ事情があるはずで、事業・家庭等大事にしなければならぬものがある。各会員のクラブ残留は本人の意思を尊重すべきであり、出席率で決まるものではない。もっと救済措置を作るべきではないか。
 - * クラブ内行事参加はメーキャップとする等、幹事に決定権を持たせ裁量に任せる旨の内規を策定すべきである。
 - * 今後、情報集会で「出席率」をテーマにするのは止めましょう。「会員増強」をテーマにしたほうが良い。「出席率」について話し合うと、最初のテーマ「出会い・志・感謝」に戻る。根本を理解すべき。
 - * 創立時は厳しかったが当時はメンバー 30 人をキープするのが精一杯。現状は 57 名となった。すばらしい！来期は 60 名にしたい。
- ※最後に、あすか RC は気楽なクラブで行きましょう！で、締められました。今回のご意見はパスト会長からのご意見がほとんどでした。本当に勉強になりました。ありがとうございました。



第 123 回榎の実会 於：グランデージ G.G.